

特許侵害の基本の判断方法

	要素1	要素2	要素3	要素4
特許発明	A	B	C	—
製品	A	B	C	D
判断	○ (同一)	○ (同一)	○ (同一)	

自社製品は、他社特許発明の構成要素
(A+B+C)を
すべて備えているため
特許権侵害の可能性が高い

椅子にあてはめて
みると…

椅子「Y」 → 特許侵害している（可能性が高い）

	要素1	要素2	要素3	要素4
特許発明 椅子「X」	脚	座面	背もたれ	—
椅子「Y」 (自社開発品)	脚	座面	背もたれ	座面 ヒーター
判断	○ (同一)	○ (同一)	○ (同一)	

椅子「Z」 → 特許侵害していない

	要素1	要素2	要素3	要素4
特許発明 椅子「X」	脚	座面	背もたれ	—
椅子「Z」 (自社開発品)	脚	座面	—	—
判断	○ (同一)	○ (同一)	× (同一で はない)	